



桂林市中医病院から こんにちは!No. 1

●自己紹介●

氏名：貝森美央

年齢：27 歳

職業：作業療法士

趣味：人間ウォッチング

私は現在、中華人民共和国 桂林市の中心部にある『桂林市中医病院』に青年海外協力隊（作業療法士）として派遣されております『ベイ』と申します。

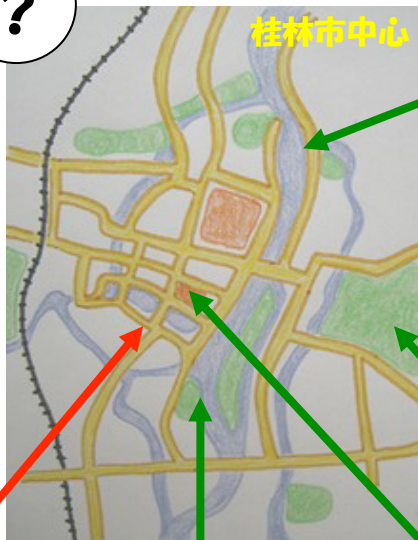
現在、派遣6ヶ月が経過し、ようやく現地の生活にも慣れてきたところです。中国国内では、『リハビリ』という概念がまだまだ行き届いておらず、私自身、現在のところ作業療法士らしい活動はほとんど出来ておりません。しかし、これが中国の現状なのです。

そこで、日本の皆さまにもぜひこの現状をお知りいただきたく、本紙を作成することにしました。

【略歴】

- ・神奈川県内某養成校にて作業療法を学ぶ。
- ・2003 年春、神奈川県内某病院に入職。
- ・2005 年春、予てからの希望であった協力隊。
多くの要請案件の必要条件である『経験年数3年』を満たしていなかったが、下見受験。
- ・1次試験（英語、専門分野、健康診断）、2次試験（面接、健康診断）に合格し、『隊員候補生』となる。
- ・2006 年3月、3年間勤務した某病院を退職。
- ・2006 年4月、青年海外協力隊派遣前訓練参加。（福島県二本松市において70日間の共同生活）
- ・6月、語学研修、派遣前訓練を無事修了し、晴れて『隊員』となる。
- ・6月末、赴任。北京にて3週間の語学研修を修了。
- ・7月末、桂林市中医病院着任。現在に至る。

桂林どこ？



《 我が桂林市中医医院 》

桂林市のほぼ中央に位置する中医学の病院で、三級甲等病院（※）、全国模範中医医院である。また、①全国乳腺病医療センター、②自治区脳卒中予防センター、③自治区整形外科中医医療センター、④桂林市咬傷予防センター、⑤桂林市中医胃腸病医療センター、⑥桂林市糖尿病医療センターとしての役割を持っている。救急診療をはじめ、内科（心・脳血管、神経、消化器、内分泌、腎臓）、外科（整形、毒蛇咬傷、泌尿）、婦人科、皮膚科、歯科、小児科など21種の病棟（350床）と32種の外来診察を行っている。



写真左が外来部門、写真右の白い建物が入院部である。私は現在、

内一科（心・脳血管系、神経系）に所属し、病棟と少しはなれたところにある訓練室でリハビリを行っている。

（※）中国の医療機関にはランクがある。（三級～一級）
三級：省または自治区所属、衛生部直轄、医科大学附属病院など、高いレベルの医療衛生サービスを提供し、高等教育および科学研究の役割を担う。

衛生部（日本の厚生労働省）の審査を経て、病床数・医療機器等の設備水準・職員配置・教育研究水準等に応じて分けられる。

いべんと

2007.1.16

今月の赤幕

『桂林市中医医院“三基”知識競賽』

～桂林市中医医院“三基”知識競技会～

“三基”とは医学基礎知識のことらしい。この日、各科病棟の代表者が集まり、ウルトラクイズ並みの熱戦が繰り広げられた。早押し問題用のスイッチが用意されていたことには驚いた。

我が内一科病棟は、問題にも恵まれず出遅れたが、巻き返しをみせ、3位の成績を収めた。



市内どこでも見ることの出来るこの「赤幕」。赤地に黄色字か赤地に白字が一般的だ。店の広告、啓蒙運動の標語、歓迎の幕、全てがこれだ。

写真は入院部門の入り口にはってあるもの。『サービスの質の向上、サービス態度の改善、サービス意識の増強、文明的イメージ(?)の樹立』
・・・といったところでしょうか。これをスタッフがどのくらい意識しているのか、不安は残るが・・・、信じましょう。改善する意欲を持たなければ、何事も始まらないのだから。



～中国語講座～

●医療・リハ用語

医院（いーゆえん）：総合病院

病院（びんゆえん）：専門科病院

康复（かんふう）：リハビリテーション

鍛錬（どうわんれん）を足して言うこともある。

●日本語と意味が違う語

走（ぞー）：歩く

「走る」を表すには「跑步」を用いる。

編集後記

ベイの嘆き

作ろう、作ろうと思って、かなりの時間が経過していましたが、ようやく1号が完成です。いかがでしたでしょうか？今後、内容を充実させていこうと思いますので、よろしくお願いいたします。

活動もどうなっていくか・・・ああ・・・という毎日ですが、山あり谷あり、楽しみながらやっついこうと思います。（ベイ）

↓↓↓日々を綴っております↓↓↓

<http://kana-ot.com/cgi-bin/blog03/index.cgi>